

景観形成地区基準

(24) 戸建・低層住宅地区（古江台6丁目（1））

a.建築物

景観形成地区基準	チェック	備考												
1.全体計画	/													
(1) 周辺環境と調和した意匠とする。	■													
(2) 生垣や並木、屋根などの連続性に配慮する。	■													
(3) 潤いのある空間の創出をはかる。	■													
2.屋根の形態意匠及び素材	/													
(1) 屋根は勾配屋根を基本とする。	■													
(2) 屋根は周辺環境と調和し、落ち着いたまちなみを形成する色彩とする。	■													
(3) 質感、素材感のある素材とする。	■													
(4) 光沢のない素材を使用する。	■													
3.外壁の形態意匠及び素材	/													
(1) 周囲の建物と外壁線を乱さないものとする。	■													
(2) 外壁の色彩は周辺環境と調和し、落ち着いたまちなみを形成する色彩、配色とする。	■													
(3) アクセントカラー以外の色彩は以下の表の範囲内とする。ただし、自然素材は除く。	■													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">色 相</th> <th style="text-align: center;">明 度</th> <th style="text-align: center;">彩 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">無彩色</td> <td style="text-align: center;">5.0以上8.5以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R(赤)・YR(黄赤)・Y(黄)</td> <td style="text-align: center;">5.0以上8.5以下</td> <td style="text-align: center;">3.0未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他の色相</td> <td style="text-align: center;">5.0以上7.0以下</td> <td style="text-align: center;">2.0以下</td> </tr> </tbody> </table>	色 相	明 度	彩 度	無彩色	5.0以上8.5以下	—	R(赤)・YR(黄赤)・Y(黄)	5.0以上8.5以下	3.0未満	その他の色相	5.0以上7.0以下	2.0以下	■	
色 相	明 度	彩 度												
無彩色	5.0以上8.5以下	—												
R(赤)・YR(黄赤)・Y(黄)	5.0以上8.5以下	3.0未満												
その他の色相	5.0以上7.0以下	2.0以下												
(4) 道路に面する外壁の意匠は、開口部を設ける、凹凸による陰影をつけるなど単調な壁面とならないものとする。	■													
(5) 質感、素材感のある素材とする。	■													

景観形成地区基準

(24) 戸建・低層住宅地区(古江台6丁目(1))

a.建築物

景観形成地区基準	チェック	備考
4.敷際		
(1)外壁後退部は開放的な空間となるよう工夫し、擁壁等を設ける場合には、擁壁前面にできる限り植栽空間を設ける。		
(2)かき又はさくを設ける場合は、できる限り生垣又は透視可能な構造とし、色相は茶又は黒系とする。		
(3)かき又はさくを設ける場合は、転落防止目的のもの以外は、できる限り高さの低いものとする。		
(4)積極的に緑化を行い、地表面の仕上げはできる限り自然素材を使用し、花や緑による演出をはかる。		
(5)駐車場は平面駐車とし、路面素材は表情のあるものを使用する。		

5.植栽		
(1)道路際へ積極的に植栽を行い、隣接地のみどりとのつながりにも配慮する。		
(2)シンボルツリーを配置する等、植栽にめりはりをつける。		

b.工作物

景観形成地区基準	チェック	備考
1.擁壁		
(1)周辺環境に調和した、仕上げ及び高さに対する工夫を行う。		
(2)垂直緑化等による圧迫感の軽減に配慮する。		